

高速道路資産の長期保全及び更新のあり方に関する技術検討委員会
第3回 議事要旨

日時：平成25年4月10日（水）10：00～12：30

場所：TKP品川カンファレンスセンター ホール1

出席：

委員長 藤野 陽三 （東京大学大学院工学系研究科 特任教授）
委員 太田 秀樹 （中央大学研究開発機構 機構教授）
宮川 豊章 （京都大学大学院工学研究科 教授）
西村 和夫 （首都大学東京都市環境科学研究科 教授）
長尾 哲 （東日本高速道路（株）管理事業本部長）
吉川 良一 （中日本高速道路（株）保全・サービス事業本部長）
牧浦 信一 （西日本高速道路（株）保全サービス事業本部長）
オブザーバー 喜安 和秀 （（独）日本高速道路保有・債務返済機構 企画部長）

議事：

1. 第2回委員会 議事録確認
2. 第2回委員会 指摘事項の回答
3. 変状分析結果と大規模更新・修繕の必要要件の説明
4. 第三者被害防止対策及び点検のあり方検討WGの設置について
5. その他

主な意見：

1. ソフト対策の中で「第三者被害防止」と「点検のあり方」は並列ではないと思うので表現方法の再整理が必要である。
2. 土構造物の現状について体系的に理解しやすくなるよう内容を充実させること。
3. 大規模更新・大規模修繕の判定フローの中の「点検・調査等」は資産の状態により内容が異なるので、例えば経過観察など、その記述を正確にすること。
4. 同様に判定フローの中で、更に表現の充実が必要なものも見られる。例えばPCグラウトの空隙対策は重要であり、調査以外の対策にも言及する必要がある。
5. 予防保全は重要であるので取組みとして明確にすべき。
6. 委員会の成果は、今後NEXCO3会社が足並みを揃えて設計要領や基準類などに反映し、確実に現場に展開、実行することが大事である。